

第62回関東甲信越静公民館研究大会茨城大会・分科会発表資料 (R4.10.28)

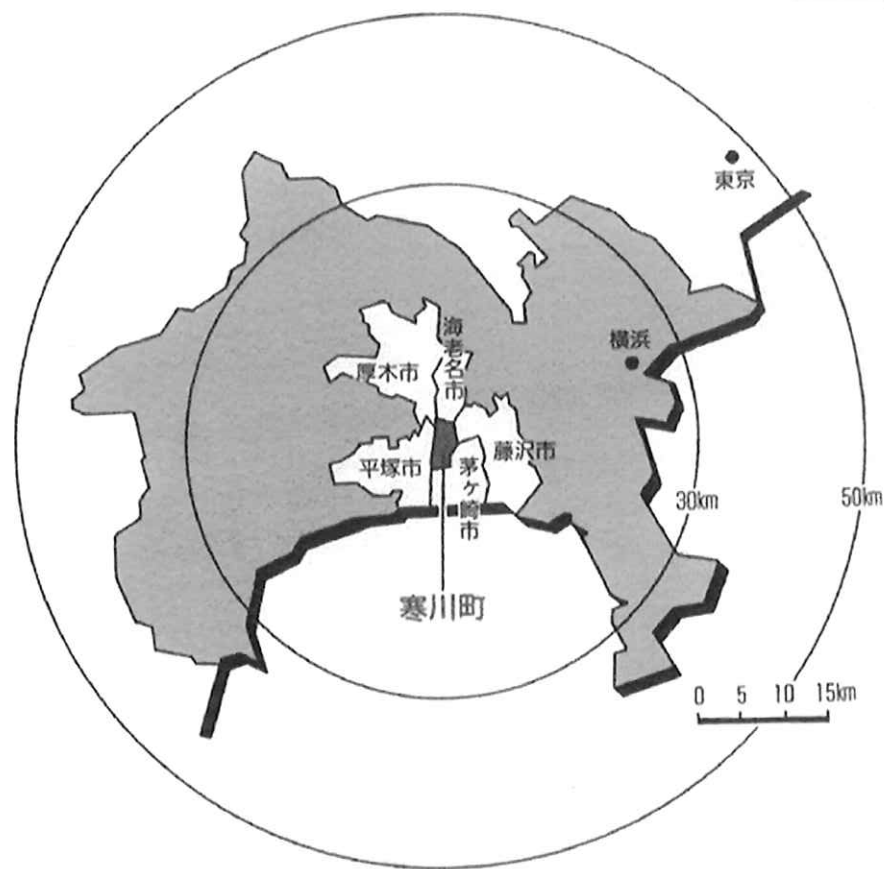
学校や地域住民など多様な 主体と連携した公民館講座 ・イベントづくりについて

令和4年10月28日 第2分科会
寒川町民センター 別府 拓自

1. はじめに

(1) 寒川町の概要①

- 寒川町は、神奈川県中央部を流れる相模川の河口から上流約6 kmの左岸湘南地域の一角
- 面積13.42平方キロメートル



1. はじめに

(1) 寒川町の概要②

- 明治22年に11ヶ村が合併して寒川村
- 昭和15年11月に町制を施行し寒川町
- 人口48,528人
(令和4年4月1日時点、県内町村で最多)

1. はじめに

(1) 寒川町の概要③

- ・ 小学校 5 校、中学校 3 校、県立高校 1 校
- ・ 相模線は大正 1 0 年に茅ヶ崎・寒川間で開通
令和 3 年に開業 1 0 0 周年を迎えた
- ・ 首都圏中央連絡自動車道（さがみ縦貫道路）
のインターチェンジが、平成 2 5 年に町内に
2 箇所開通、交通の利便性が大幅に向上

1. はじめに
(1) 寒川町の概要④

- ・ 縄文時代の「岡田遺跡」は国内最大級の集落



釣手土器

1. はじめに

(1) 寒川町の概要⑤

- 平安時代の「和名類聚抄」に記載される古代郷
- 寒川神社は相模国一之宮として知られる
- 鎌倉幕府初代将軍・源頼朝の忠臣であった梶原景時ゆかりの地（一之宮に館を構える）



1. はじめに

(2) 寒川町の公民館について①

- ・ 昭和24年 寒川中学校内に寒川町公民館が設置
- ・ 昭和35年 ホールを備えた寒川町公民館が完成
- ・ 昭和54年 寒川町民センターが開館
- ・ 昭和57年 北部公民館が開館
- ・ 昭和58年 南部公民館が開館

1. はじめに

(2) 寒川町の公民館について②

- ・平成22年 寒川町公民館が老朽化に伴い休館
寒川小学校内に移転
- ・平成25年 寒川町民センター分室に名称変更
- ・平成29年 寒川町民センター、センター分室、
北部公民館、南部公民館に指定管理者制度を導入

1. はじめに
(2) 寒川町の公民館について③



1. はじめに

(3) 公民館活動について①

- ・ 公民館の利用団体で「利用者の会」を作り、各地区の利用者の会役員を中心に実行委員会を組織し、「公民館まつり」を3館で開催
公民館まつりは、昭和53年に第1回を開催し、以来40年以上の歴史あり

1. はじめに

(3) 公民館活動について②

- ・ 公民館事業は、年代別・分野別に、各館ごと年間約50事業を実施
- ・ 町民の意見を取り入れた事業企画・立案を行う公民館生涯学習推進員を平成8年度から設置

1. はじめに
(3) 公民館活動について③

- 学校との連携
- 地域の団体との連携
- 企業や大学の助成事業・出前事業の活用

2. これまでの学校や地域団体との連携事業について (1) 小学校との連携／子どもフェスティバル（北部）①

- ・ 子どもフェスティバルは、北部公民館区域にある2つの小学校の4年生から6年生の実行委員が、公民館の生涯学習推進員のサポートを受けて企画・運営する事業
- ・ 実行委員の人数は、平成29年度18名、30年度17名、令和元年度11名



2. これまでの学校や地域団体との連携事業について (1) 小学校との連携／子どもフェスティバル（北部）②

- ・フェスティバルの午前は、小学生たちが実行委員会で企画し当日はホスト役を務めるゲームコーナーを中心に、キッズダンス、人形劇、マジックショーなどを開催



2. これまでの学校や地域団体との連携事業について

(1) 小学校との連携／子どもフェスティバル（北部）③

- ・ 午後は、地元中学校邦楽部による演奏会



2. これまでの学校や地域団体との連携事業について

(1) 小学校との連携／子どもフェスティバル（北部）④

- ・ 子どもフェスティバルは、毎年夏休み開始直後に実施される「小学生による小学生のためのまつり」として定着
- ・ 令和4年度は、小学生の実行委員の募集は断念、生涯学習推進員による企画で開催する予定であったが、感染拡大により中止

2. これまでの学校や地域団体との連携事業について

(2) 中学校との連携／楽器体験しよう！with寒中吹奏楽部①

- ・南部公民館の区域にある寒川中学校吹奏楽部は、公民館まつりでの演奏実績あり
- ・楽器体験しよう！with寒中吹奏楽部は、少子化に伴い寒中吹奏楽部員が減少していることを受け企画



楽器体験しよう
with 寒中吹奏楽部

8月28日(水) 場所:南部公民館 集会室

午後1時30分～午後3時

寒中がやさしく指導してくれます！



対象:町内在住の小学5年生・6年生
講師:寒川中学校吹奏楽部
費用:無料
持ち物:体育館履き、飲み物

申込:8月2日(金)午前9時～
南部公民館へ電話か直接
問い合わせ:南部公民館 0467-75-0281

2. これまでの学校や地域団体との連携事業について (2) 中学校との連携 / 楽器体験しよう！ with 寒中吹奏楽部②

- 小学5・6年生12名が受講
- 9種類の楽器（フルート、クラリネット、アルトサククス、ホルン、トランペット、トロンボーン、チューバ、ユーフォニアム、パーカッション）の中から、各参加者は20分ずつ4つの楽器体験を行う



2. これまでの学校や地域団体との連携事業について (2) 中学校との連携／楽器体験しよう！with寒中吹奏楽部③

- ・参加した小学生のみならず、指導に当たった中学生にとっても非常に意義のある体験
- ・最優先で継続実施すべき事業であるが、コロナ感染防止により初回以降実施できず



2. これまでの学校や地域団体との連携事業について (2) 中学校との連携／楽器体験しよう！with寒中吹奏楽部④

- ・令和4年度は夏休みに演奏会を開催、シニア世代の先輩たちが大勢見に来てくれた



2. これまでの学校や地域団体との連携事業について (3) 高校との連携／子ども実験教室（北部公民館）①

- ・ 寒川高校科学部による出前講座
- ・ 第1回（令和元年）は、参加者20名、部員3名と顧問1名で指導
- ・ 第2回（令和4年）は、申込者が50名以上、24名を受け入れ、部員5名と顧問1名で指導

令和4年度北部公民館
青少年育成事業

成功！子ども実験教室

ブーメラン

缶つぶし

おもしろ実験

内容
ブーメラン作り、浮沈子、缶つぶし
等楽しい実験を行います

日時：令和4年7月22日(金)
午前9時30分～11時

場 所：北部文化福祉会館 集会室
対 象：町内在住の小中学生 15名
但し、1、2年生は保護者同伴
講 師：寒川高校科学部
費 用：無料
持ち物：筆記用具、飲み物

申し込み：7月2日（土）より窓口又はホームページで。
締切り7月16日（抽選） 空きがある場合は、
7月17日より先着順で窓口または電話で受付

問合せ：北部文化福祉会館 ☎74-1515 FAX 74-7405

寒川高校科学部の皆さんが
親切丁寧に教えてくれます



2. これまでの学校や地域団体との連携事業について (3) 高校との連携／子ども実験教室（北部公民館）②

- 大気圧を利用した「缶つぶし」
厚紙を使った「ブーメラン作り」
パスカルの原理を利用した「浮沈子」
- 町内にある高校は寒川高校だけ
であるため、連携の幅をさらに
広げていきたい



2. これまでの学校や地域団体との連携事業について (3) 高校との連携／子ども実験教室（北部公民館）③



2. これまでの学校や地域団体との連携事業について (4) 地域団体との連携／親子でホタル観察会（北部）①

- ・ 親子でホタル観察会は「さむかわエコネット」の協力を得て、令和4年度から開始
- ・ 目久尻川の土手の定期的なゴミ拾いや草刈り、魚や昆虫・野鳥の観察会および調査を実施

令和4年度北部公民館
全年代事業

寒川のホタル展

日時：5月22日（日）～6月4日（土）
午前9時00分～午後5時00分

◆場所：北部文化福祉会館1階ロビー

◆対象：町内在住・在勤 ◆講師：なし
◆参加費：無料 ◆持ち物：筆記用具等
◆申込み：当日、北部公民館窓口で記帳
◆問合せ：北部文化福祉館 電話(74)1515 FAX(74)7405

親子でホタル観察会

日時：5月29日（日）
午後7時00分～午後8時00分

内容：①北部公民館でホタルのパネル展示を見ながらホタルと地域の実情を説明
②目久尻川ふるさと緑道で実際のホタルの観察を実施

◆対象：町内在住の親子 10組（先着順）
◆講師：さむかわエコネットの皆さん
◆参加費：無料 ◆持ち物：筆記用具等
◆集合場所、時間：北部文化福祉会館 1階ロビー
午後6時50分
◆申込み：5月1日（日）より北部公民館窓口へ直接
※同時受付は2組まで
（注）ホタルの発生状況、天候等により、日程を変更する場合があります。
◆問合せ：北部文化福祉会館 電話(74)1515 FAX(74)7405

2. これまでの学校や地域団体との連携事業について (4) 地域団体との連携／親子でホタル観察会（北部）②

- ・ さむかわエコネットの旧目久尻川河川跡水路での「ホタル復活プロジェクト」は、会員が育てたホタルの幼虫を毎年放流
- ・ 令和4年は3月に約1,200匹の幼虫を放流し、早ければ5月下旬にも成虫が飛び始め、一晩で100匹の光が見られる可能性もある

2. これまでの学校や地域団体との連携事業について (4) 地域団体との連携／親子でホタル観察会（北部）③

- ・プロジェクトと連携し「親子でホタル観察会」を実施、当日は13組37名の親子が参加し、家族で地域の自然を確認したいとの関心の高さがうかがえた
- ・予想どおり100匹近くのホタルが飛び交い参加者の体にホタルがとまる光景も見られた

2. これまでの学校や地域団体との連携事業について (4) 地域団体との連携／親子でホタル観察会（北部）④



2. これまでの学校や地域団体との連携事業について (5) 地域の人材を発掘／だがしや楽校（町民センター）①

- だがしや楽校は、縁日の屋台形式で複数の出店者が趣味や特技を発表し合い、来場者と交流する集い
- 切り絵、折り紙 「ものづくり」
 色カルタ、絵合わせ 「遊び」
 茶道、ハンドベル演奏 「体験」



2. これまでの学校や地域団体との連携事業について (5) 地域の人材を発掘／だがしや楽校（町民センター）②

- 出店者を講師とした
「講座の見本市」
- 店開きは2時間が目安
- 複数の来場者に同時対応
- 10分程度で完成または体験



2. これまでの学校や地域団体との連携事業について (5) 地域の人材を発掘／だがしや楽校（町民センター）③

- 当館では、11月中旬の説明会を経て12月第1～2土曜日に開催、クリスマス前の賑わいづくりの役割も果たす
- 来場者から新たな出店者が生まれるような寒川独自のだがしや楽校へと発展させたい



2. これまでの学校や地域団体との連携事業について (5) 地域の人材を発掘／だがしや楽校（町民センター）④



2. これまでの学校や地域団体との連携事業について (6) 企業や大学の助成事業・出前事業の活用①

- 東洋大学 全国講師派遣事業
(平成30年～令和4年度、令和3年度除く)
- 東京地学協会 出前講座 (令和2年～4年度)
- 明治安田生命 講師派遣・MY定期講座
(令和4年度)

2. これまでの学校や地域団体との連携事業について (6) 企業や大学の助成事業・出前事業の活用②

【優れた芸術文化の鑑賞機会の提供】

- ・三井住友海上文化財団

「ときめくひととき公演 地域住民のためのコンサート」

令和元年9月8日 オペラペらぺらコンサート、令和5年度申込

- ・神奈川芸術文化財団（神奈川県民ホール）

令和3年12月18日 ワークショップ付コンサート「カルメン」

令和4年12月3日 みんなでたのしむオペラ「ヘンゼルとグレーテル」

3. 今後の連携事業について

- ・ 令和5年1月、神奈川工科大学・地域連携貢献センターの協力で、小学校高学年対象の館外学習を予定
- ・ 多様な主体との連携を進めることにより
公民館も学校・団体・企業等も
お互いWin = Winの関係になる

4. 最後に

- 新しい学習メニューを企画することで、公民館になじみの薄い層へも働きかけ新規参加につなげていきたい

ご清聴ありがとうございました